

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 304 訂正 2023年3月3日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

エキノコックス症 専門家交えた調査検証を

3月1日 予算特別委員会 保健福祉局 千葉なおこ市議

札幌市における公園や住宅地に住みつくキツネの相談、苦情がR5年度に5倍と増加していることやエキノコックス症の届け出が横ばいで減っていないことを受けて千葉市議が質問に立ちました。

千葉市議はまず、「本市は札幌市エキノコックス症対策実施要綱を定めており、各保健センターにおいて報告書の無料検査を実施している。市民からの問い合わせが増えている中、無料検査への案内や検診の実施状況をお伺いします」と質問。市の担当者は「小学生以上を対象に無料のエキノコックス症検査を実施している。2012年度から2022年度で全区で延べ1444名の方が検査を受け、1次検査で陽性となった方が3名、その後の2次検査では0名。このような無料検査とあわせて、基本的な感染対策の周知が重要であると考えており、広報さっぽろや市のホームページを活用するなどして、適切な情報提供を今後も継続して行ってまいりたい」と答弁しました。

千葉市議は最後に「不安を感じる方がこうして無料で検査を受けられる体制というのは、市民の安心に繋がる。北海道立衛生研究所感染症部は、都市住民のエキノコックス感染リスクは増加しているとの見解で、都市のキツネ対策、エキノコックス症対策について考え直す必要があると報告している。本市としても市民の安心安全のために、キツネやエキノコックス症について、専門家を交えた調査検証するなど、取り組みを強めていく必要がある」と求めました。

動物愛護の取り組み もっと前へ

3月1日 予算特別委員会 保健福祉局 千葉なおこ市議

ペットショップなど動物取扱業者への適正使用の遵守基準、マイクロチップ装着の義務化、動物虐待罪の強化などを盛り込んだ改正動物愛護法が2019年6月に可決成立し、2021年6月から施行となったことを受けて、千葉市議が札幌市の取り組みについて質問をしました。市は「虐待が疑われるものとして寄せられる通報は、令和2年度意向、30件程度で推移している」と通報による情報が寄せられていると説明。千葉市議は「動物虐待に対して動物病院や警察とはどのような連携や取り組みを行っているのか」と質問しました。市の担当者は「動物愛護管理法の改正により、獣医師に通報義務が課せられ、虐待の疑いがある動物を診察した獣医師から通報は一定数ある。通報内容を確認する中で、事件性や悪質性が高いと判断される場合は、警察とも連携し、通報に係る情報の提供や、合同での現地立ち入りなどを行っている」と答弁。重ねて千葉市議は、「動物虐待は絶対に許されない犯罪である。通報した先の警察職員の対応が法改正について正しく把握しているか疑問という声もある。周知啓発とともに関係機関と動物愛護法についてきちんと学習、確認していく必要がある」とも求めました。

また、千葉市議は「令和3年度の本市の犬だけの登録頭数というのが約8万2500頭、札幌市のマイクロチップの登録状況は7000と少ない。本市でもこうしたマイクロチップの周知も合わせながら補助制度なども今後ぜひ検討していただきたい」と求め、質問を終えました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。